

社会資本総合整備計画

事後評価書

計画の名称	地域コミュニティの活性化に向けて、自然と人とが共生できる都市公園づくり													
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	彦根市													
計画の目標	・人口減少による地域活力の衰退を回避するために都市機能誘導区域であるJR河瀬駅周辺において、グリーンインフラを活用して駅前広場や歩道を整備することにより、都市環境を整え、地域の魅力を高める。 ・都市公園整備による都市施設の充実やグリーンインフラを活用した小学校敷地の整備により、快適に、安全に、安心して居住できる環境を整え、次世代の新たな住民を居住誘導区域内に呼び込む。 ・都市公園やグリーンインフラを活用した各施設の整備において、雨水流出抑制機能を取り入れ、河川への負担軽減を図り持続可能な魅力あるまちを創る。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		398	A	398	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和元年度	令和4年度	令和6年度
1	地区内人口減少の低減・・・都市公園の整備等により都市環境を整え、まちの魅力を向上させ、新たな住民を呼び込むことにより、当計画策定時点において令和6年度に－2.4%と予測される人口変動率を－1.4%に低減する。 河瀬地区内人口変動率 {(地区内人口(人)/H27年度【都市マス策定時】地区内人口(人))－1} ×100			
		0%	0%	－1%
2	地区内の子どもの増加・・・グリーンインフラを活用した都市環境の整備により子育て環境の充実を図り、次世代の新たな住民を呼び込み、人口減少が予想される地域で子どもの数の増加を目指す。 河瀬地区内の子どもの数 地区内の幼児、児童の総数(人)			
		1003人	1018人	1033人
3	防災、減災対策の強化・・・雨水の流出を抑制するなどグリーンインフラを活用し、防災、減災対策に取り組み、持続可能な魅力あるまちを目指す。 雨水流出抑制量 グリーンインフラによる雨水流出抑制量の合計			
		0m3	180m3	260m3

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	彦根市	直接	彦根市	－	－	グリーンインフラ活用型 都市構築支援事業（河瀬 地区）	公園整備、公共公益施設の緑 化	彦根市	■	■	■	■	■	398	9.41	－
											小計						398		
											合計						398		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本市都市計画課において指標の達成状況を確認	令和7年7月
	公表の方法
	彦根市ホームページにより掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	1.地区内人口減少の低減および2.地区内の子どもの数については、期待していた当該事業の効果より人口減少が上回ったため目標値を達成することはできなかった。3.防災、減災対策の強化では、河瀬公園の整備により、雨水流出抑制量の目標値の260m3を達成することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	新たな公園の整備により、地区内住民の憩いの場としての利用にとどまらず、地区外からの来園者もあり、地域の賑わいの創出に貢献している。

○特記事項（今後の方針等）

事後評価時点では定量的指標の目標値のうち、1.地区内人口減少低減や2.子どもの数の増加は達成できなかったが、公園の一部供用開始以降、当地付近において、分譲宅地として4件、16,651㎡、67区画の開発行為が行われている。引き続き開発行為が続くことが見込まれおり、今後、地区内人口減少低減や子どもの数の増加が見込まれ、当該事業の効果の発現が期待される。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	地区内人口減少の低減 -1.0%		
	最 終 目標値	-1%	期待していた当計画の効果以上に人口減少が上回ったため
	最 終 実績値	-4%	
2	地区内の子どもの増加 1,033人		
	最 終 目標値	1033人	期待していた当計画の効果以上に、コロナ禍の出産控えなど、子どもの数の増加を阻害する要因による影響が大きかった
	最 終 実績値	791人	
3	防災、減災対策の強化 260m3		
	最 終 目標値	260m3	
	最 終 実績値	260m3	